

ご挨拶

新治小学校校長の古屋 澄人（ふるや すみと）でございます。今年度、校長として2年目を迎えるにあたり、保護者・地域の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年度を振り返りますと、本校の豊かな自然環境を生かした教育活動が、子どもたちの健やかな成長につながったことが何より印象深く感じられます。

- 新治市民の森に関わる活動では、4年生が植林を行い、緑を守る取り組みを進めました。また、竹を活用して作った「モルック」は、子どもたちの創意工夫が光り、校内にその魅力が広がりました。
- 梅田川での学習では、3年生が7月に生き物調査を行い、希少種であるホトケドジョウの生息を確認しました。さらに、横浜市内では新治地区にのみ生息する「ムカシツチガエル」の繁殖活動を校内ビオトープで継続し、命が確かに受け継がれていることを確認することができました。
- 水田を活用した学習では、5年生が田植えから収穫、餅つき、収穫祭まで一連の稲作に挑戦し、日本の食料事情について体験を通して学ぶ貴重な機会となりました。
- 畑での活動では、個別支援学級と2年生がサツマイモの栽培に取り組み、秋には立派なサツマイモを収穫し、季節を感じる豊かな体験となりました。
- 6年生は、地域の特色を総合的に取り入れた「わくわく感謝祭」を開催し、学びの成果を地域に広く発信しました。

これらの活動は、新治市民の森愛護会、田んぼ隊、地域コーディネーターの皆様をはじめ、地域・保護者の皆様の温かいご支援があつてこそ実現したものです。令和7年度に横浜環境活動賞「大賞」を受賞できたことも、地域と深く関わってきた積み重ねの賜物です。改めて深く感謝申し上げます。

本年度も、「だれもが 安心して 豊かに」過ごすことができる人権尊重の精神を基盤とし、学校教育目標である「みつめる かかわる かんがえる」の実現に向けて教育活動を進めてまいります。ものごとをしっかりと見つめ、人や地域、自然と豊かに関わり、粘り強く考える子どもたちを育てていく所存です。

新治地域の豊かな自然は、子どもたちにとってかけがえのない学びの場です。その恵まれた環境を最大限に生かしながら、子どもも教職員も「学ぶ楽しさ」や「新しいことへの期待」を感じられる学校づくりを進めてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、引き続き子どもたちの健やかな成長のために温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



令和8年4月
新治小学校 校長 古屋 澄人